

《乳がん検診問診票》

フリガナ		生年 月日	明治 ・ 大正 ・ 昭和	
氏名			年	月
住所	〒		電話番号	-

下の太枠の中を記入してください。

<p>1. 月経について</p> <p>① はじめての月経 _____ 歳</p> <p>② 最近の月経 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 年 _____ 月 _____ 日 (順調・不順)</p> <p>③ 閉 経 _____ 歳 (自然・手術・その他)</p>																								
<p>2. 出産・妊娠・授乳について</p> <p>① 出 産・・・ 自然分娩 _____ 回 帝王切開 _____ 回</p> <p>② 妊娠回数(流早産死産を含む)・・・ _____ 回</p> <p>③ (出産された方) 授乳方法・・・ 母 乳 ・ 混 合 ・ ミルク</p>																								
<p>3. 今までに下記の病気にかかったことがありますか。</p> <p>① なし</p> <p>② あり・・・ 乳腺炎 _____ 歳 乳腺症 _____ 歳 甲状腺の病気 _____ 歳 子宮がん _____ 歳 卵 巢の病気 _____ 歳 子宮筋腫 _____ 歳 その他の病気 _____ 歳</p>		<p>4. ホルモン治療(避妊薬・更年期治療を含む)を受けたことがありますか。</p> <p>① なし</p> <p>② あり 使用期間 _____ 年 _____ 月 現 在 () 使用していない () している</p>																						
<p>5. 最近の乳房には次のような症状がありますか。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">① なし</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 15%;">(どちらですか)</td> <td style="width: 15%;">(いつからですか)</td> <td style="width: 10%;">(月経との関係は)</td> </tr> <tr> <td>② あり・・・</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">[</td> <td>しこり</td> <td>右・左・両方</td> <td>_____ 年 _____ 月前</td> <td>なし ・ あり</td> </tr> <tr> <td></td> <td>いたみ</td> <td>右・左・両方</td> <td>_____ 年 _____ 月前</td> <td>なし ・ あり</td> </tr> <tr> <td></td> <td>乳汁分泌</td> <td>右・左・両方</td> <td>_____ 年 _____ 月前</td> <td>なし ・ あり</td> </tr> </table>				① なし		(どちらですか)	(いつからですか)	(月経との関係は)	② あり・・・	[しこり	右・左・両方	_____ 年 _____ 月前	なし ・ あり		いたみ	右・左・両方	_____ 年 _____ 月前	なし ・ あり		乳汁分泌	右・左・両方	_____ 年 _____ 月前	なし ・ あり
① なし		(どちらですか)	(いつからですか)	(月経との関係は)																				
② あり・・・	[しこり	右・左・両方	_____ 年 _____ 月前	なし ・ あり																			
		いたみ	右・左・両方	_____ 年 _____ 月前	なし ・ あり																			
		乳汁分泌	右・左・両方	_____ 年 _____ 月前	なし ・ あり																			
<p>6. あなたの血縁で乳がんの方がいますか。</p> <p>① いない</p> <p>② いる・・・ 母 姉 妹 母方祖母 その他</p>																								
<p>7. 乳がん検診をうけたことがありますか。</p> <p>① ない</p> <p>② ある・・・ 検診年月日 _____ 年 _____ 月 マンモグラフィ : 撮った ・ 撮らない 結 果 異常なし ・ 要精密検査 ・ その他 ()</p>																								

マンモグラフィとは乳房専用のX線撮影のことです

マンモグラフィは、乳房を片方ずつ、X線フィルムを入れた台と透明なプラスチック板ではさんで、乳房を平らにして撮影します。(これを圧迫といいます。)圧迫により、乳房内部の様子を鮮明に写しだすことができ、さらに放射線被ばく線量を少なくすることができます。圧迫の際に、痛みを伴うことがあります、痛みの感じ方は人によって違います。検査全体は10分程度かかりますが、圧迫をしている時間は数十秒です。生理前の1週間を避けると痛みが少ないようです。乳房の大小にかかわらず、撮影は可能です。

マンモグラフィにより、視触診ではわからない早期がんの発見が可能になります。マンモグラフィで発見される乳がんの70%以上は早期がんで、乳房温存手術を受けることができます。

2年に1回の受診をお願いします

2年に1回の受診でも、毎年受診した場合とほぼ同様の有効性が示されています。

ただし、受診後でも、新たにしこりを触れた場合には、速やかに乳房疾患の診療を専門とする乳腺外科等の医師を受診するようにしてください。

精密検査は必ず受けましょう

マンモグラフィ(視触診併用)による乳がん検診を受けると、通常、受診者1,000人中50人(5%)の方に精密検査が必要となります。さらに、精密検査を受けた50人の中で、乳がんと診断されるのはおおよそ1~2人(2~4%)です。

すなわち、受診者1,000人中1~2人の方が乳がんと診断されます。精密検査が必要とされた方すべてが乳がんではありませんが、50人に1~2人という確率はかなり高いものです。精密検査が必要と言われたら、必ず受診しましょう。